

子宮頸がん検診を受けられる方へ ～ 早く見つけてしまえば『がん』は治ります ～

- 日本では20～30歳代の罹患率が増加!!
子宮頸がん検診は20歳から受診することができます。
- 子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんです。
性交渉により感染するヒューマンパピローマウイルス（HPV）が主な原因です。
感染により、その一部は前がん病変を引き起こします。
- 定期的な受診を習慣づけ早期発見に繋がしましょう。
「要精検」の通知が届いた場合には、必ず精密検査を受けましょう。

検診バスが、お近くの
保健センターなどへ
伺います

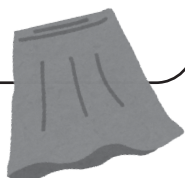


罹患率：ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値

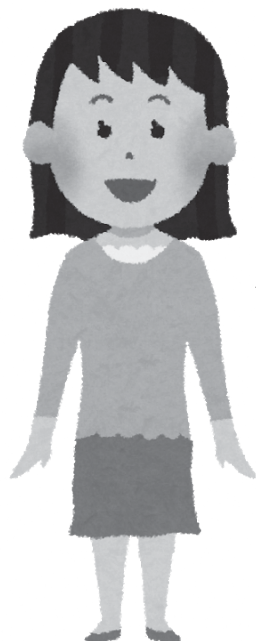
当協会では、消毒や定期的な換気などの感染予防対策を徹底し、
安心して健診を受診していただけるための環境確保に努めています。

＊ 検診時の注意事項 ＊

脱ぎ着のしやすい服装でおいでください。
スカートで来るか、必ずスカートをご持参ください。



子宮頸部から極少量の細胞を取ります。まれに出血がみられることがありますが、ほとんどの場合自然に止まります。



血液をサラサラにする薬（ワーファリン、バファリン、バイアスピリンなど）を服用されている方は、検査の際、出血が止まりにくい場合があるため、処方医とご相談のうえ受診してください。

※受診後、出血が（概ね1週間以上）長引く方は、医療機関（婦人科）で診察を受けてください。

＊ 下に該当する方は医療機関（婦人科）で検診をお受けください ＊

- 性交渉の経験のない方：検査器具による痛みや出血などがあります。
ご心配の方は医療機関（婦人科）にご相談ください。
- 過去に子宮がんの手術を受けたことのある方
- 最近6か月以内に、月経異常や不正出血のある方
- 現在、妊娠中または妊娠の疑いのある方